

放課後等デイサービス山形コロニー シード【自己評価表】

放課後等デイサービス山形コロニー シード では、事業所が提供するサービスの質について、評価・点検を実施しました。より良いサービス提供を目指すとともに、自己評価を公表することで、地域のみなさまに安心して利用していただくことを目的としています。なお、この自己評価表は厚生労働省が定める「放課後等デイサービスガイドライン」をもとに作成した「保護者向けアンケート」の回答結果、及び自事業所の自己チェックとなる「事業所向けアンケート」の意見等を踏まえ、「自己評価」としてまとめたものです。

「○」：おおむね良好といえる 「▲」：より良くしていきたい 「×」：改善が必要

		チェック項目	保護者向けアンケートによるご意見等	自己評価	改善目標・工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	・利用がまだ少しなので活動状況をすべて把握していないのでまだよく分からない。	▲	・コロナの感染予防で対面を避けた配置することにも努めておりますが、十分な距離の確保が難しいことがあります。カリキュラムや配置の工夫をしながら支援しています。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	・利用がまだ少しなので活動状況をすべて把握していないのでまだよく分からない。	○	・法令で定められた基準以上に人員を配置しております。今後も支援上必要な人員配置に努めます。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	・どのように設置されているか分からないので未記入。 ・事業所の中は不明です。 ・利用がまだ少しなので活動状況をすべて把握していないのでまだよく分からない。	○	・福祉施設における建物基準を満たし、車いすの方にも利用していただけるバリアフリーの建物となっております。 ・建物2階に行く際にはエレベーターも設置されておりますので、ご利用下さい。 ・コロナの終息を待って、より開かれた事業所づくりに努めて参ります。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	—	○	・支援開始前、支援終了後に毎回スタッフミーティングを実施しています。また、毎月定例の会議を開催し、業務改善に努めています。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	—	○	・保護者向けアンケート結果の評価・ご意見を参考にしながら、より良いサービス提供を目指し、今後も業務改善に努めていきます。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	—	○	・自己評価結果をホームページにて公開しています。今後も継続していきます。
	⑦	第三者による外部評価を行い、調査結果を業務改善につなげているか	—	▲	・現状、第三者の外部評価は依頼していません。 ・法人内部でのチェック機能の強化も視野に、今後も業務改善に努めてまいります。
	⑧	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	—	○	・外部研修に加え、法人及び事業所内での伝達研修や内部研修等を定期的に実施し、専門性・資質の向上に努めています。 ・また、職員としてどう対応するべきか等のケース検討を頻繁に行っております。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題等捉えた放課後等デイサービス計画を作成しているか	—	○	・保護者、利用児童とのアセスメントにて現状の課題や目標、ニーズについて確認しつつ、段階的に達成できるような計画を意識して作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	—	○	・標準化された独自のアセスメントツールを使用しています。シードでの活動の中で確認できた情報を、ご家族様に定期的にフィードバックするよう努めております。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	・コロナのせいでしてほしい事ができないとのことで残念です。	○	・毎月の定例会議、毎日のスタッフミーティングにて、個別支援計画や意向に沿った活動プログラムや課題に合わせた活動を提供できるよう企画・立案しています。
	⑫	活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか	—	○	・それぞれの目標や発達段階に応じて、各種作業体験、生活自立度・社会性やコミュニケーション能力の向上支援など、意向に沿いつつ、将来を見据えた活動プログラムを日々工夫しながら設定しています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	—	○	・スタッフミーティングにて課題・目標を共有し、1人ひとりに応じた活動を企画・提供しています。長期休暇期間には、職場体験や職場見学等、将来のイメージ作りや放課後では経験できない活動機会の提供にも注力しています。
	⑭	活動プログラムは個々の計画に応じた工夫がされているか	—	○	・個別支援計画に沿って、個別活動・集団活動等を組み合わせながら、1人ずつ活動プログラムを立てております。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	—	○	・1日1日の支援予定表を作成して確認しています。時間などの急な変更があった際は再度計画の修正をし、職員間で変更の共有をしております。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか	—	○	・支援終了後にスタッフミーティングを実施しています。当日の活動状況の振り返り、情報共有及び支援方法の検討等を行っています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	—	○	・5W1H、事実と推測を意識しながら記録しています。第3者が見ても、支援状況が正確に理解できるように努めています。
	⑱	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	—	○	・6ヵ月以内に一度を基本としつつ、必要に応じ適宜モニタリングを実施しています。支援の進捗状況、達成度、意向等を考慮しながら、適宜計画内容を変更しています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	—	○	・職業体験、作業体験、自立度向上支援、創作活動、地域交流機会、余暇活動等、可能な限り多様な活動プログラムを提供できるよう努めていますが、今年度は新型コロナウイルス流行により地域交流会や『食』に関する活動は中止となりました。 ・スモールステップで「できた」という成功体験の蓄積を重視し、自信の醸成、自己理解、自己選択できるよう支援しています。

	チェック項目	保護者向けアンケートによるご意見等	自己評価	改善目標・工夫している点など
関係機関や保護者との連携	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	—	○	・児童発達支援管理責任者が参加しています。児童発達支援管理責任者に加え、必要に応じて直接処遇職員も参加してもらっています。
	㉑ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	—	○	・予定の確認、情報共有、相談などを、場合によってはご家族にも間に入っていただき、協力していただきながら連携を図っています。
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	—	○	・医療的ケアが必要な児童は現在利用していません。必要に応じて主治医との連絡体制を確立し、緊急時の対応ができるよう努めます。
	㉓ 子どもが他の放課後等デイサービスを利用している場合、放課後等デイサービス間で情報共有と相互理解に努めているか	—	▲	・相談を通して他デイサービスでの活動の様子をお聞きすることが多いです。放課後等デイサービス間での情報共有や相互理解の機会を多く持てるよう今後も取り組んでまいります。
	㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	—	○	・相談支援事業所とも連携しながら、障害福祉サービス事業所はもちろん、一般企業等への移行会議等にも積極的に参加しています。
	㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	—	○	・児童発達支援センター、発達障害者支援センター、障害者職業センター等、各専門機関の研修には積極的に参加しています。講師派遣依頼等も実施しており、助言をいただきながら支援の参考にさせていただいております。
	㉖ 地域の方々との交流や、地域の中で活動する機会があるか	・利用がまだ少ななので活動状況をすべて把握していないのでまだよく分からない。 ・コロナ禍の為 ・状況に応じて工夫していただきたいと思います。が、むずかしくなっていると思います。 ・ぜひ、大人の方とシード卒業生等と交流があるといいです。 ・まだ機会がありません。	▲	・山形県コロナー協会全体で行われる地域交流会にてシードとして出店をしたり、地元の職場体験学習の企画など、地域の中で活動の機会を毎年企画しております。今年度は残念ながら新型コロナウイルスの流行により中止や変更となった行事が複数ありました。終息を待って地域との交流も増やしていきたいと考えております。
	㉗ (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	—	▲	・自立支援協議会(子ども部会)が開催される度、毎回参加しておりますが、今年度は参加の機会がありませんでした。
	㉘ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解をもっているか	—	○	・日々の活動の様子について、送迎のご家族へは直接、自力で帰宅する児童の場合は連絡帳や電話にてお伝えするようにしています。半年に一度のモニタリングでは期間中の目標に対する取り組みの成果や見えてきた新たな課題について、ご家庭の様子も伺いながら共有しています。
	㉙ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	—	▲	・ペアレントトレーニング等の研修会は実施していません。厚生労働省のホームページに掲載されている「ペアレント・トレーニング実践ガイドブック」や、諸研修を参考に、対応力向上に資する取り組みを行って参ります。
保護者への説明責任等	⑳ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	・計画を立てる時など、日頃の様子を良く見て下さり、伝えてくれる。	○	・利用契約の際に説明しています。運営規程・重要事項説明書等に変更がある場合には、都度説明し、同意をいただいております。
	㉑ 保護者に対して面談や、子育て・進路等に関する助言等の支援が行われているか	—	○	・ご家族の送迎の際や面談の機会に、必要に応じて助言などを行っております。地域の社会資源や就労情報等の情報提供も行っております。より多くの機会が持てるようこれからも努めて参ります。
	㉒ 児童・保護者が一緒に活動できる機会の提供により、活動している利用者同士の交流の機会や、保護者同士の関係づくり等が提供されているか	・コロナ禍の為 ・コロナの影響で今まで通りにはいかなかったと思います。 ・保護者同士情報交換等があると嬉しいです。先輩の保護者の方からのお話等。 ・楽しみにお待ちしております。 ・利用がまだ少ななので活動状況をすべて把握していないのでまだよく分からない。	▲	・ご家族からのニーズも上がっており、必要性を感じております。今年度は新型コロナウイルスの感染予防にも配慮しながら、事業所見学とバスの乗り方教室、防災センター見学の際にご家族にもご参加いただける形といたしました。来年度、新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、企画して参ります。
	㉓ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	・その機会がないのでわかりませんでした。 ・わかりません。	○	・苦情受付担当者や解決責任者、苦情解決委員会等の体制を整備し、迅速に対応できるようにしています。 ・毎日、夕方のスタッフミーティングで苦情リスクについても振り返りを行い、安心して利用していただける事業所づくりを目指し取り組んでいます。
	㉔ 定期的に会報を発行し、活動内容や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	・利用がまだ少ななので活動状況をすべて把握していないのでまだよく分からない。	▲	・シードだよりの発行やホームページでのブログの更新頻度は、十分ではありません。活動の様子や防災に関する情報なども積極的に発信するよう努めて参ります。
	㉕ 個人情報に十分注意しているか	—	○	・個人情報が記載された書類は鍵付きキャビネットに保管しています。また、データについてはパスワードを設定する等、適切な対応を図っています。
	㉖ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	—	○	・必要に応じて視覚的にわかりやすい支援ツールやその他必要に応じて補充ツールを作成し、わかりやすく情報伝達できるように配慮しています。1人ひとりに合わせた支援のために、より良い方法をこれからも模索していきます。
	㉗ 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか	—	○	・事業所単独でのお祭り(シード祭り)には、地域の学校の先生方を招待したり、協会行事にも積極的に周知しながら開かれた事業運営に努めて参ります。

	チェック項目	保護者向けアンケートによるご意見等	自己評価	改善目標・工夫している点など
非常時等の対応	③⑧ 緊急時の対応や防犯、感染症などの対応についての手引きを策定し、保護者に周知・説明されているか	—	▲	・各種マニュアルについては、法人で策定し職員間で共有していますが、そのすべてを保護者の皆様に周知できてはおりません。シート日よりホームページを通して保護者の方にもお伝えしているよう努めます。
	③⑨ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	・避難訓練に参加していない子どもには、内容や、もしもの時の場所の確認をしてけると助かる。	○	・例年、山形県コロナ協会での総合防災訓練を年2回、シード単独の避難訓練も年2回実施しております。（シードでは曜日ごとに利用児童が違いため、（月）～（金）連日避難訓練を実施しています。） ・非常災害時の避難に関する学習や情報提供等について、お知らせする機会を定期的に持ちたいと思います。
	④⑩ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	—	○	・年に1回以上、職員研修日に虐待防止研修を開催しています。また、毎日の夕方のスタッフミーティングで虐待リスクの有無について確認し、検討を行っています。
	④⑪ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	—	○	・「やむを得ず身体拘束を行う」といったケースは現状ありません。今後、身体拘束のケースが想定される場合には、必要な手順・方法を選択し計画に記載します。
	④⑫ 食物アレルギーのある子どもについて、医師指示書に基づく対応がされているか	—	○	・食物アレルギーの有無等については、利用開始時に必ず確認し、支援にあたる職員全員で共有しています。必要に応じて医師指示書を提出いただき対応しています。
	④⑬ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	—	○	・夕方のスタッフミーティングにて「ヒヤリ・ハット」の有無を確認・記録し、ファイリングしています。
満足度	④⑭ 子どもは通所を楽しみにしているか	・楽しみというが、通うようになって社会へ出るという事を自覚しはじめたようです。 ・リラックスできる居場所になっているようです。 ・事業所の前を通る度嬉しそうです。 ・今は学校の友人との交流の方が楽しいようです。	○	・「職場のような場所」としての活動を提供していますので、楽しいという感覚だけではなく、活動の中で助言を受けたり、うまくいかなかったり、色々な気持ちになることがあると思います。そのような中でも、集団・個別の様々な活動を通して成功体験や達成感一つずつ積み重ねることができるよう、また、本人が主体的な活動ができるよう、支援して参ります。
	④⑮ 事業所の支援に満足しているか	・今は就職に向けて親子でがんばっている中、力をかけて頂いていてありがたい。	○	・保護者の方のニーズや本人の希望もお聞きしながら、それぞれの発達段階や障害の程度・特性に合わせ、いろいろな経験が出来るよう支援しています。これからもより良いサービスを目指してまいります。

職員の配置状況（令和3年2月10日現在）

施設長：1名、児童発達支援管理責任者：1名、保育士：1名、児童指導員：4名

職員の資格等（令和3年2月10日現在）

社会福祉士：3名、精神保健福祉士：1名、介護福祉士：1名、保育士：2名、児童指導員4名
 高等学校教諭一種：1名、中学校教諭一種：1名、
 訪問型職場適応援助者：1名、強度行動障がい支援者養成研修（基礎研修）修了者：5名、SST社会生活技能訓練研修修了者：2名
 （重複所持あり）